

# 学校保健委員会だより

保護者用  
(家庭数)

令和6年(2024年)9月26日 豊中市立東豊台小学校

## 褒めてもダメ 叱ったらパニック 関係づくりが難しい子どもの理解と対応

9月18日(水)多目的室で学校保健委員会を行いました。今回は六十名を超える保護者の方がご参加くださいました。お忙しい中、どうもありがとうございました。

年に一度、子どもの健康課題についてテーマを設け、学校と保護者、専門の講師の先生とで交流するこの会ですが、今年のテーマは「褒めてもダメ 叱ったらパニック 関係づくりが難しい子どもの理解と対応」でした。日々子どもと関わる中で、“よかれと思って対応しているのになぜかうまくいかない”、“うまくいかないだけでなく、子どもの困った行動がひどくなる”ということがあります。その背景として、子どもと大人の安定した関係づくりが重要なのではないか…という思いから、この夏、本校の職員研修でも講師を務めてくださった平山先生に、愛着についてのお話を伺いました。

講師



平山 雄大 氏  
ひらやま たけひろ

大阪府立豊中支援学校

### 関係性をつくるのが難しい子どもの特徴

感情

の問題が特徴的

愛着

形成に原因があるかもしれない

愛着(アタッチメント)とは

特定

の大人との

情緒

的な深いつながり

できる

- 自分大切にされている存在
- 自分に対する信頼(自己肯定感)
- 他人のことを信じてもいい

できない

- 感情コントロールができない
- 教師や友だちと人間関係を築けない
- 「どうせ～」意欲がわからない

△愛着対応の誤解△

×愛情不足だから ×自分の子育てが間違っていた ×子どもと過ごす時間が少ないから

弱

※愛着の課題は連続体(スペクトラム)

強

### 【愛情の器】モデル

米澤好史(2015)  
「愛情の器モデルに基づく愛着修復プログラム」

安定愛着型

ポジティブな感情を  
貯める器が未形成タイプ

底がぬけていて貯まりにくいタイプ

器の修復が必要

### 2つの対応のコツ

① 先手 で関わる…NG 対応 ×「何がしたい？」と大人が聞く ×「～がしたい」子どもが決める この時点で子どもに主導権  
大人が先に動く・呈示して関わる

例)子どもの得意なこと・興味のある活動・役割を与える

子どもと同じ気持ちになる

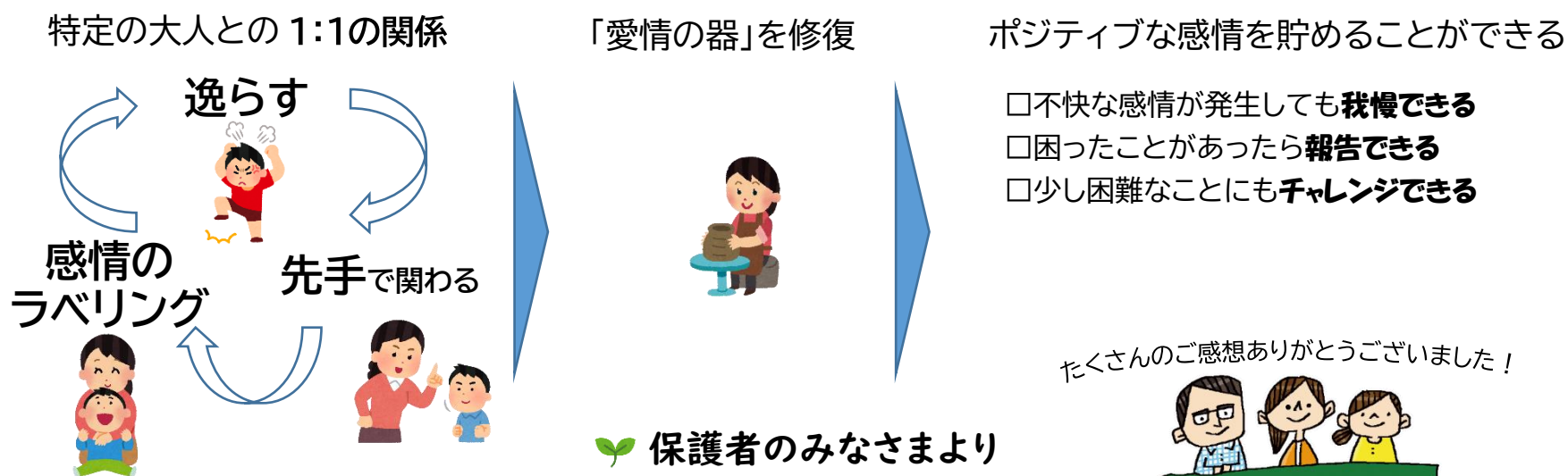
感情のラベリング

お母さんと一緒に○○して楽しいね～

②一旦 逸らす …行動の問題が出てしまった場合、一旦興味のあること(モノ・人)に逸らす→話ができる状態→何がダメ  
こうしてほしい  
冷静に具体的に教える

裏へ続く▶▶

# 愛着形成のステップ



子供との関わり方について、なかなか相談できる機会がもてなかったため、悩みについても認識できていませんでした。それに気づき、子供と向き合い、楽しく過ごそうと、建設的に考えることができるよい機会となりました。/子供が2人おりますが、例で出て来た2つのタイプにそれぞれ分かれていると感じました。色々な要因は有るかと思いますが、今回お伺いした対応方法を実践してみたいと思います。(行きつ戻りつ…と頭に置いて、時間をかけて…)/うちの息子はポジティブ感情をためる器が未形成タイプだなと思いました。色々、支援の先生にもアドバイスをいただいていることと、NG行動もたくさんしてしまっていることがあったので、もっとためてみようかなと思いました。/子どもの気持ちや対応についてとてもわかりやすく学べました。同じ様な悩みをもつ保護者がたくさんいることがわかって安心しました。今日から実践してみたいと思います。いつも楽しみに参加させてもらっています。/小さい頃からちょっとしたことで怒って爆発してしまうことが多く、どのようにしたら改善できるのだろう…と悩んでいたもので、本日のお話はとても興味深いものでした。/自分が今までの子育てを通して感じてきたこと、とおりにすぎたことがたくさんあり、とても興味深かったです。今も成長まただ中の子どももいるので、今日学んだことをふりかえり、活用できたらな…と思います。成長の後半になってきた子どもに対して、改めて接するヒントもいただいたので、これからの家族の関わり方を振り返るいい機会になったと思います。/子どもの接し方の参考になり、勉強になりました。親の自分も、正解がわからないまま対応していることが多く悩むことも多いですが、今日お聞きしたお話を実践してみたいと思います。/分かりやすくよい会でした。/子どもだけでなく、大人にも必要な対応で参加してよかったです。自分事として、関係ないと思わず、問題がないと思っている方にもどんどん聞いて欲しい話でした。/平山先生の「自分の子育てが間違っていた」は誤解という言葉で心が少し軽くなりました。子どもと一緒に少しずつ、出来ることから解決していきたいです。/最初の統計で、小学校高学年から中学にかけて自己肯定感が下がると聞いて、驚きました。成長の過程とのことですが、知っていれば親のかかわり方も考えられるので、勉強になりました。/愛着形成に関するお話、わかりやすく聞かせていただいて良かったです。研修でいろいろと学ぶのですが、それを伝えていくことが難しいです。特に自分の娘などには…多くの子育て中の親に早めに聞いてもらえたらいいと切に願っています。/本日教えていただいた子育てのコツを取り入れながら、より良い親子関係を築いていきたいと思っています。/子供の好きなことを一緒にやっているつもりでしたが、やろうと言ってくるのはいつも子供からだなと気づきました。帰ったら私からあそびに誘ってみようと思いました。/小学校の子どもたちのアンケート結果を知り、高学年になる程、自己肯定感が下がることを理解しました。これから思春期に入る我が子の為に家族が休息できる場所となるよう心がけたいと思いました。/興味深く聞きました。2年と4年の保護者です。/1年生男児、年中女児、それぞれ違うタイプの愛着が貯まりにくいとあてはまった気がして、納得することが多かったです。それぞれタイプは違うけれど、愛着…難しいけれどできる範囲からやっといこうと思えました。/ゲームの制限、爪かみに対してどうしていったら良いか悩んでました。話を聞いて、自分のしていたことが甘えだったことに気づかされました。これから寄りそえるように、子供が大好きなゲームを先手でかかわり話してみようと思います。/お話を聞きして、自分の子どもへの対応でマズかった部分があり、(小さいころから傾聴のしすぎ)また子どもの状態も王様のようにお試し行動していることが当てはまり、初めて具体的に問題が理解でき、とても勉強になりました。これからは、先手で、子どもの興味のあることを、少しずつ一緒にやっといこうと思います。/途中からの参加でしたが、今までずっともやもやしていた愛着についての内容を理解できたように思います。実践はこれからですが、息子と向き合うヒントとして覚えておきたいです。/とても勉強になりました。愛着形成、と最初聞いた時は、目をみて話そう、ハグしよう、と言われるのかと、ドキドキしましたが、もっと現実的で具体的なお話で、大変参考になりました。できる事に限度はありますが、できることからポチポチやってみます。/子供の症状で一部あてはまることもあり、見入って聞きました。一番印象に残ったのは子どもに主導権をにぎらせないことが大事というポイントです。子どもの反応を見ながら先生のお話を思い出しながら軌道修正しつつ子育てがんばります。/悩んでいたもので、とても勉強になりました。本日から実践していこうと思えました。次回も楽しみにしています。/愛着の問題については、とても興味があったので、本日の公演は大変有意義でした。我が子の特性にあてはまることが多く、親としてどう対応していけばよいのか、コツをわかりやすく教えていただけたので、早速実践していきたいです。/子どもとの関係は、子育てしていると永遠の悩みで、本当に今の私の人生の課題です。毎日、一喜一憂していますが、先生のお話を聞いて、いつでも変わる、今からでも遅くないと思え、心が休まりました。5.10年後笑って過ごせるように一日一日を大切にしていきたいと思えました。また、このような機会がありましたら、ぜひ参加させていただきたいです。